

市民課に行政キオスク端末を 設置します

コンビニ交付サービスが利用できる行政キオスク端末(マルチコピー機)を市民課証明窓口を設置します。コンビニ交付サービスでは、マイナンバーカードを利用して住民票の写しや所得証明書などの証明書を窓口よりも100円安く取得できます。ぜひ利用してください。

- 使用開始日 10月2日(月)
- 使用可能日時
 - 平日 午前8時30分～午後5時15分
 - 日曜日 午前9時～午後5時



▶設置する行政キオスク端末(マルチコピー機)

取得できる証明書と手数料

証明書の種類	手数料
住民票の写し(世帯全員・一部)	200円
印鑑登録証明書	200円
戸籍全部事項証明書(戸籍謄本)・戸籍個人事項証明書(戸籍抄本)	350円
戸籍の附票の写し	200円
所得証明書	200円
所得課税証明書	200円

※開庁日に限り
※祝日は除きます
※数字4桁の暗証番号の入力が必要です
※転出した人や成年被後見人、ドメスティックバイオレンスなどの支援措置を受けている人、証明書の交付制限を受けている人は利用できません
※15歳未満の人が利用する場合は、利用変更の申請を行う必要があります
取得できる証明書と手数料
左表のとおり
問い合わせ 市民課(☎27)2727

結核・肺がん検診を追加実施します

結核・肺がん検診(胸部レントゲン撮影)を追加して実施します。検診の対象でまだ受診していない人は検診を受けましょう。

- 問い合わせ 健康管理センター(☎23)6675
赤堀保健福祉センター(☎20)2210
あずま保健センター(☎62)9918
境保健センター(☎74)1363

期日・会場・時間 左表のとおり
※会場の混雑を避けるため、住んでいる行政区の会場で受診してください。詳しくは4月に送付した日程表を確認してください

期日	会場	受付時間
10月10日(火)	豊受公民館	午前9時30分～11時
	名和公民館	午後1時～2時
	茂呂公民館	午後2時45分～3時45分
10月11日(水)	殖連公民館	午前9時30分～11時30分
	三郷公民館	午後1時30分～2時30分
	北公民館	午後3時15分～3時45分
10月16日(月)	境公民館	午前9時30分～11時30分
		午後1時30分～2時30分
10月17日(火)	あずま保健センター	午前9時30分～11時30分
		午後1時30分～2時30分
10月18日(水)	赤堀保健福祉センター 健康管理センター ※車椅子での受診に限り(要予約)	午前9時30分～11時30分
		午後1時30分～3時
10月19日(木)	健康管理センター	午前9時30分～11時30分
		午後1時30分～3時
10月20日(金)	健康管理センター	午前9時30分～11時30分
		午後1時30分～3時
		午後5時～7時

【車椅子で受診できます】
健康管理センターでは10月18日(水)の午後1時30分から3時まで、車椅子での検診を実施します。車椅子の利用者や撮影時の姿勢が保てない人、歩行に介助が必要な人が対象です。受診は予約制で定員になり次第終了です。検診を希望する人は、事前に健康管理センターに連絡してください。



▲詳しくはホームページを確認してください

伊勢崎市合併20周年記念 ロゴマークを募集します

本市は、令和7年1月1日に合併から20年を迎えます。活力ある伊勢崎市を市内外にアピールする「合併20周年記念ロゴマーク」を募集します。ロゴマークは、ポスターやチラシなどのほか、来年度実施する20周年記念事業のさまざまな場面で活用します。ぜひ応募してください。

問い合わせ 企画調整課(☎27)2707

募集期間 10月2日(月)から11月10日(金)まで(必着)
対象 市内に在住または本市にゆかりのある人、本市のことが好きな人
※法人や団体などによる応募も可能です
選考方法 審査により5作品を選定後、一般投票で最優秀賞1点と優秀賞2点を決定します
※最優秀作品をロゴマークとして採用します

応募方法 応募用紙に必要事項を記入の上、作品データを入れたDVD-Rなどの記録媒体を添えて直接または郵送で企画調整課、または専用ホームページ(☎)https://logoforum.jp/form/Gpfu/359658から応募してください



▲専用ホームページ



▲詳しくはホームページを確認してください

10月は食品ロス削減月間！ストップ食品ロス！

残さず食べればみんな幸せ

まだ食べられるにもかかわらず、廃棄される食品のことを食品ロスといいます。「食品ロスの削減の推進に関する法律」では10月を「食品ロス削減月間」、10月30日を「食品ロス削減の日」と定めています。食品ロスを減らすためには、一人一人が食品ロスについて学び、意識することが重要です。家庭でできる環境にも財布にも優しい簡単なポイントを紹介いたします。

問い合わせ 資源循環課(☎27)2732

食品ロスの現状

令和3年度の農林水産省と消費者庁、環境省の推計では、国内で約523万トンの食品ロスが発生しています。そのうち約244万トンが一般家庭から発生したものです。

今日から実践！家庭でもできることから始めましょう

- 【買い物編】冷蔵庫の中を確認してから買い物に行きましょう
- 使い切ることのできる量を買きましょう
- すぐに食べる食品は、手前に陳列されている期限の短いものから取りましょう
- 【料理編】傷みやすい食品は早めに使

- 【切りましょう】保存方法を見直して、食材を長持ちさせましょう
- 残った料理や食材は工夫をして食べ切りましょう
- 【備蓄編】保存方法に従い、最適な保存をしましょう
- 期限の短い食品を手前に保管しましょう
- 冷蔵庫の中を整理して「見える化」しましょう
- 災害時の備えにもなる「ローリングストック法」を実践しましょう
- ロールリングストック法とは、普段食べている食品を少し多めに買い置きし、古いものから食べて、その分を買い足す方法です



クックパッド 消費者庁のキッチン

消費者庁では食材を無駄にしない料理のレシピを紹介しています。



【マイ箸】マイ箸を使い、使い捨ての箸の利用を減らしましょう。
【マイバッグ】買い物にはマイバッグを持参し、使い捨てプラスチック袋の利用を減らしましょう。
【マイボトル】マイボトルを使い、使い捨て容器(ペットボトル)の利用を減らしましょう。

食品ロス削減と併せて「マイグッズで使い捨てゼロ運動」を実践！